

かみふらの 議会だより

NOW

ナウ

98.10.25

No.20

オートキャンプ場を視察する

総務常任委員(10月12日の町内行政調査から)



主な記事

- 集中豪雨による災害復旧費補正予算可決 ②
- “検証” 公共料金を考える＝保育料＝ ④
- 福祉行政^{など}6議員が一般質問に登壇 ⑤～⑩



▲道路などに大きなつめあとが▶



集中豪雨による災害復旧に 5,220万円の補正予算可決

9月定例町議会は21日・22日の2日間開催され、補正予算・条例などの審議と一般質問を行いました。

9月定例町議会では各会計の補正予算が審議されました。

一般会計は8月、9月の大雨による町道などの被害に対する災害復旧費など総額1億865万3千円の補正予算が可決されました。

なお、8月28日の災害復旧費については緊急を要したため、専決処分に対応し、その承認を可決しました。

全町で82ヶ所の被害

8月28日、9月9日の集中豪雨、及び9月15日、16日の台風5号により、全町の道路の欠損や畑などからの土砂が側溝に流れ込むなどの被害が発生しました。被害は全体で82ヶ所にものぼり、それに伴う被害復旧費として5千2百20万円の補正予算が可決されました。

■集中豪雨による災害復旧費補正の状況

災害発生日	土木施設	農業用施設	計
8月28日(専決処分)	1,560万	360万	1,920万
9月9日	1,520万	780万	2,300万
9月15日・16日	670万	330万	1,000万
計	3,750万	1,470万	5,220万



江花地区の水源地調査の様子

江花簡易水道の 認可設計費を補正

江花地区の簡易水道事業の認可設計費として150万円の補正予算を可決しました。今年度、水源調査を行っていましたが、水源が確保されたことに伴い事業実施に向けての認可設計を委託するものです。工事は平成11年度以降からの実施予定です。

条例改正

墓地使用料を改定

平成10年度造成区画を10万円に



造成中の中央共同墓地

上富良野町墓地の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例が可決されました。

改正内容は本年度造成している中央共同墓地の使用料を1区画（3m×3m）10万円にするものです。

算定方法として工事費から割返した1区画あたりの単価の概ね40%程度を墓地使用料として設定したものです。

この条例の施行日は平成10年10月1日からです。

■中央共同墓地の使用料（1区画当たり）

区 分	使 用 料
昭和47年以前に造成区画	3,000円
昭和48年から昭和55年に "	10,000円
昭和56年から平成4年に "	60,000円
平成8年に "	80,000円
平成10年に "	100,000円

教育委員

小澤氏再任に同意



教育委員会委員に小澤治子氏を再任することに同意しました。

本町の教育委員会委員のうち、同氏の任期が平成10年9月30日で任期満了となるため、町長からの再任の同意を求められたものです。

損害賠償和解の件

日の出公園施設内で発生した事故について、損害賠償の額の決定について可決しました。

調査の結果、この事故は観光客の方が日の出公園内にある通路を歩行中、側溝の平板ブロックが割れて負傷したもので、ブロックの老朽化がこの事故の原因であり、町の施設管理の過ちと認め損害賠償額を決定したものです。

委員長	久保儀之
委員長職務代理	和田昭彦
委員	小澤治子
委員	小田喜美男
教育長	高橋英勝

教育委員会委員の構成

臨時議会

ショートステイ増築工事を承認

第5回臨時議会が10月12日開催され、特別養護老人ホーム・ショートステイ専用室増築工事（建築主体工事）の請負契約について原案通り可決しました。

内容は、ラベンダーハイツに増築するもので10床を予定しています。

なお、工事総額は機械設備・電気設備とあわせて9千6百7万5千円です。

特別養護老人ホーム・ショートステイ専用室増築工事（建築主体工事）

- 契約金額 7千4百2万5千円
- 契約先 榎佐川建設
- 工期 平成11年3月31日



建設中の管理棟（オートキャンプ場）

オートキャンプ場など3件の工事請負契約承認

第4回臨時議会が8月28日開催されました。

内容は町より提出された次の3件の工事の請負契約締結について審議され、原案通り可決しました。

- 日の出公園新設工事（その2）
- 東9線道路凍雪害防止工事
- 神谷川改修工事

第4回臨時議会

8/28

第5回臨時議会

10/12

公共料金を考える No. 3

検証

保 育 料

町の公共料金の検証の第3回目として

保育料について取り上げました。



児童福祉法の改正で「保育料負担方式」へ

現在、保育料の算定方法は国の基準をもとに児童の年齢と保護者の所得によって決まっています。
平成10年4月1日に改正された児童福祉法により、保育料は従来の所得税額等によって算定される「応能負担方式」から保育にかかる費用を基礎に算定される「保育料負担方式」に移行していく方向にあります。

■ 保育料の一例

(所得税額8万円から20万円、3歳未満児)

区分(所得税額)	国の基準	町の保育料
80,000円以上 140,000円未満	44,500円	34,000円
140,000円以上 200,000円未満		41,600円

町独自に負担軽減

保育料については、国の基準の範囲内で各町村で設定できるため、本町においては町独自の施策として保育料の据え置き、階層区分を増やすなどの措置をしています。
一例ですが、左の表でもわかるように国の基準では所得税額が8万円以上20万円未満の方は一律4万4千500円の保育料を徴収することとなっていますが、本町においては階層を2つに分け、更に保育料を据え置くなどの措置をとり、保護者の負担軽減を図っているところです。

適正・公平な 保育料の設定を

保育所を運営していくためには、保護者が負担している保育料のみでは運営していくことができないため、その差額について国と道と町でそれぞれ負担することになっています。
国の基準通りに保育料を徴収していれば町の負担分だけの経費で済むのですが、町独自の負担軽減措置をとっているために、更に平成9年度で約1,700万円町において負担しています。
今後は、毎年国において保育料や、階層区分の改定が予想されますが、町においては保護者の負担等を考慮し、適正かつ公平な保育料の設定を進めていくことが重要です。



町独自の保育料の軽減を実施

Q、ヒルクライムの実施は！

A、町民サイドの大会運営を望む



自転車競技風景から

ヒルクライムの実施は

問 自転車協会から要請があり、かつ道の補助金50万円の助成が認められたにもかかわらず、本年は実行するにいたらなかったが、道教育局でも認めるこのイベント「ヒルクライム」について教育長はどのように考えるか。また、難しい問題に対しては町長に一任するという姿勢はどうかと思うが伺いたい。

さて、このイベント「ヒムクライム」は、自転車協会という相手がありタイムリミットも来ています。当初計画に入れるか否かの町長の考えをお伺いします。教育長 今年の実行委員会の努力にもかかわらず断念された経緯がありますが、今後も引き続き実行委員会が中心となり総力を結集して実現の努力をしていただきたい。また実行計画がまとまったならばその計画内容に基づき、支援、協力できる分野については前向き

に検討したい。ただし、現時点では町が主体となって実施することは困難である。また、町長に一任しているのではないかとという質問ですが、町長と教育委員会が一体的な共通理解のもとで実施することがよいということ町長の判断を仰いだということです。

町長 この大会は町内外の者を対象とするイベントであるから町民に親しまれるイベントとしなくてはなりません。このためには町民サイドでの大会運営が望ましいと考えています。その上で行政としての支援について協議したい。関係者の一層の努力を期待します。
再質問 今、町長の言われた町民サイドの運営については、町総合計画の戦略プロジェクトにある生き生き長寿プロジェクト、熟年パワー増進まちづくりの即実行です。熟年者に企画から運営まで全てやっていただくのです。これが定着する

ことにより熟年者の生き甲斐づくりになり、町、特に十勝岳のPRにつながります。町長の考えをお伺いします。
町長 このイベントの実施に向かつては地域住民の皆さんの理解と認知をいただき、またその実行組織の充実と活動を望んでおり、その中で行政として支援できるものについては最大限支援していきたい。

情報公開はできるのか

問 情報公開についてですが、道からの情報で私の知り得たことについてお聞きします。

- 一 生涯学習振興奨励費補助金
- 二 道民スポーツ大会30年記念表彰に係る事前調査について
- 三 全国スポーツレクリエーションの周知について
- 四 これは少し趣旨が変わりますが農業振興資金をもってパークゴルフ場造成の50%補助がある。以上の件について関係団体に周知されて



梨澤議員

いるか教育長にお伺いします。また道庁不正経理以来、当議会でも5人を超える議員が質問しているが、現在までの町長の答弁を見ると徐々に消極的になっている。また、行政改革の計画を見ても非重点項目となっている。町長の考えについて伺います。
教育長 指摘された件については再認識いたしました。また今後は、知り得た情報をいち早く周知するよう努力したい。
町長 情報公開条例については情報開示請求権を付与した条例であるので、私は平成12年度以降に向かって制定の努力をしたい。
再質問 情報公開条例に1項目「知る権利」をいれてはどうかお伺いします。
助役 情報公開については当然施策決定、動向、執行のプロセスを広く住民に伝えるのが目的であるので「知る権利」も当然その中に包含される。

Q、介護保険の進捗状況は

A、介護保険事業計画に着手



本年の4月設置の介護保険推進室

福祉施策について

問 3月の議会で質問しておりますが、半年たった今、介護保険、その組織と基本的な姿勢が今だ見えて来ないが進捗状況と今後の考え方を伺いたい。

町長 本年4月に、町民課の中に、介護保険推進室を置き、課長補佐職と事務職員を配置して、準備体制の充実を図っております。

当面早急に取り組まなければならない本町の老人保健福祉計画の見直しと介護保険事業計画の策定に着手したところであります。いわゆるモデル事業の実施に関しまして、北海道との委託契約も締結が終了し、介護認定の調査対象が、100名およびケアプラン作成対象者10名の選考につきましても終了したところであります。

再質問 審査もありますが、サービスを希望する人と、要介護の人と、介護は必要なし、また、要支援、要介

護には、1から5、7段階に分かれていると思います。が、その判定サービスを、受けられるか否かが重要であって、保険給付からはずれる人をどう救っていくかが重要になると思いますが、どのように考えているのか伺いたい。

町長 平成12年から実施される、介護保険制度の施行に伴い、認定外については、町独自の福祉サービスを取り進めていくように、図って参りたいと思っております。

パークゴルフ場の新設について

問 パークゴルフ場の新設については同僚議員が何回か質問しておりますが、今進展しておりますか。

町長 パークゴルフ人口は、全国的に爆発的人気が増え続けており、子供から老人まで気軽に楽しいスポーツであると思っておりますが、町長の決断と実のある回答をお願いいたします。

町長 この件は過般、町体育協会、婦人・青少年団体等から、早期の整備を求める陳情を受けているところであり、今後財政状況を見極め第4次総合計画の中で、早い時点で実施計画に取り組みたい。

再質問 早い時点とか第4次計画と言われますが、若さで決断の町長であれば、「町民に夢と希望を持たせ住んでいてよかったと思うまちづくり」と、いつも言われておりますが、調査費をつけるぐらいのことを考えてはいるかが伺いたい。

町長 平成11年度からの事業を実施計画の中に組み込むことは整合性の問題もあり難しく、新規事業については第4次計画の中で、早い時期に検討をして参りたいと思っておりますので、御理解をお願いいたします。

都市計画マスタープランについて

問 わが国の中小企業を取り巻く環境は、景気の低迷

や金融機関等の破綻に伴う金融システムの不安感が増大し、景気はさらに悪化傾向で極めて深刻な状況である。



町民による「まちづくり」が重要

国は通産省、建設省と13課の省庁が重点的施策として、中小企業市街地活性化を、平成10年度予算に総額348億円を計上し、基本的に市町村が中心となって都市計画を作成しなさいとなっております。町長の考えを伺いたい。

町長 本年からの策定基本にしたがって、駅前開発並びに商店街活性化を国、道に働きかけていきたいと思っております。



仲島議員

Q、町立病院の体制充実を

A、療養型病床群へ検討中



経営維持のため体制充実がのぞまれる

療養型病床群を早急に

問 町立病院に療養型病床群の機能をもたせ、地域医療の体制充実を図る考えはないか伺いたい。

町長 町立病院は昭和33年から40年の経過を経て、町民の多くの皆様方の治療や予防に貢献をしてきました。病院経営を取り巻く環境は

実に厳しいものがあり、町立病院が一般病院として経営を維持していくことは極めて困難な情勢にあります。その要因として、入院患者の減少、病床利用率の低下によるところであり、効率的な利用を図っていかねばならないと考えています。高齢化社会を迎え、保健、福祉、医療の連携のもと、高齢化対策が求められています。

平成12年度から介護保険制度が導入されます。保険体制の充実も進めていかねばなりません。長期療養を必要とする患者を収容する療養型病床群の設置、

整備が求められています。

町立病院の一般病床の一部を療養型病床へ転換するなど切り替えもしなければと、考えているところです。このことにより、病床利用率の向上が図られ、病院の経営安定にもつながるものと考えています。

今後のあり方については、町立病院運営審議会や行革部会の中の検討委員会で検討をしていただいているところです。今後、病院運営審議会等の意見をいただき、経営の具体的な方策を早急に取りまとめを進めていきたいと考えています。

再質問 介護保険の認定から

もれた人、病状が固定して、それ以上治る余地のない人で生活に不自由を強いられている人、特別養護老人ホームに入居希望しても入居出来ない人、このような方々を収容するためには中間的な療養型病床群が必要です。検討中ということですが、第4次総合計画の



吉武議員



ラベンダーハイツの介護の様子から

中でも最優先に取り組んでいただきたく伺います。

町長 平成12年度から始まる介護保険制度の導入に伴い、既存の病院のまま対応が出来ない特例措置があり、療養型病床群の一部を取り入れた町立病院の経営に向かって対応を進めているところです。

町長 平成12年度からの介護保険の実施の前に療養型病床群の特例措置がありますので、その期間内に、今80床ある町立病院の病床の何床かを療養型に変えて併設の病院経営を進めていく考えです。町立病院全般の今後の経営の方向を定める方法ということで対応することですが、これを含めて、それ等の法が具現化された段階で進めていくように努めていきたいと思っています。

Q、町民本位の介護保険実施を！

A、サービスの低下につなげないように努める



在宅による介護サービスの様子

町独自の介護給付を

問 介護認定された場合、ヘルパーの派遣回数と時間が、現行より後退が予想され、老人ホームでは、入所者の8割の方々が、利用料の負担増になるが、今後の対応を伺いたい。

町長 ホームヘルプサービスの低下の問題については、町独自の保健福祉サービスによりサービスの低下につながらないようにしたい。施設利用者にとっては、介護保険が導入されると、負担が増えると思定しているが、制度の中で負担の重い方に対する軽減が図られると考える。

再質問 ヘルパーの問題については、町独自の「上乗せ」手段を講ずるなどの対策が必要ではないか。施設利用者においては、所得が少ない利用者ほど負担が重くなり、利用料の軽減措置が必要と考えるが伺いたい。

町長 ヘルパーの派遣については、町独自の対応を図

ることを考えている。利用料の軽減については、実情を見極めて対処したい。

再々質問 施設利用者の所得に応じた利用料の減額措置をすることで確認してよいか。

町長 負担軽減については十分検討しながら状況を見極めたい。

入札時の予定価格の公表を
問 公共事業の透明性を高めるためにも、予定価格の事前、事後公表を実施してはどうか伺いたい。

町長 入札の透明性や競争性の向上を図る取り組みとして、一部自治体で公表しているところもあるので、効果や状況を十分に調査したい。

再質問 予定価格の公表については、前向きに検討されますか。

町長 弊害が出て来るのかどうかを十分見極め、今後十分研究を加えていきたい。

保養センターの無料開放を
問 住民が気軽に利用でき



米沢議員

腎臓透析患者への交通費の助成を

る保養センターにするためにも、巡回バスの運行や無料開放を設ける考えはないか伺いたい。

町長 当面お年寄りを対象に地域ごとの送迎バスの運行や、無料開放日をどのようにに設定することが望ましいか検討したい。

再質問 保養センターの住民への還元策を実施に移すべきと考えるが伺いたい。

町長 公社と町との調整を図り、保養センターの町民への利用促進について検討し、実施に踏み込んでいきたい。

問 腎臓透析患者への交通費の助成については昨年の9月にも質問いたしました。その後どのようにに検討されているのか伺いたい。

町長 成案には至っておりませんが、助成額の見直しなど引き続き検討したい。

再質問 検討するとして、実施時期はいつか。

町長 交通手段が大きく多様化しており、公平さを欠くことのない対処の仕方では、助成額の見直しを、担当方に指示している。



毎日賑わいをみせる 白銀荘

Q、パークゴルフ場の新設は

A、早期実現に向けて努力したい



増えつづけるパークゴルフ人口

パークゴルフ場について

問 公式パークゴルフ場建設及び既存コース整備については、住民から強い要望があり緊急に対応が必要と考えるが、住民が納得できる答えを用地の取得、建設予定年度、コース整備等々の計画について伺いたい。

教育長 多くの町民から要望されている懸案事業であると充分認識しており、町と充分協議し早期実現が図れるよう努力いたします。

再質問 用地取得、建設予定年度、既存コース整備、特に現在の公園内コースは非常に危険である。安全対策等々具体的に伺いたい。

教育長 第4次総合実施計画の中で早期実現が図れるよう努力します。安全対策については万全を期してまいりたいと考えております。

再々質問 計画資料の中では漠然としており、再度明確なる計画を伺いたい。

教育長 町長から具体的に実施計画の中で明確にした

いと答えをいただきました。私達も議員同様の意見を持っておりますので早期実現に向けて努力いたします。

スキー場施設整備について

問 以前より日の出スキー場の照明、本格的クロスカントリーコース建設等の要望があるが考えを伺いたい。

教育長 スキー場照明については4基9個の照明で十分と考えております。利用不備な点が在りましたら適時措置いたします。

再質問 本格的クロスカントリーコースは財政的にも早期実現は考えておりません。既存コースを整備して利用していただけるよう配慮いたします。

再質問 照明について利用関係団体から斜面が非常に見にくいと、増設の強い要望があり考慮すべきでは。

教育長 照明に問題があれば意見を集約して善処について検討してまいります。

交通安全対策について

問 6月の定例議会で質問した国道237号線の西11線の連続するSカーブ地点基線交差点周辺の警報機等による安全対策、西1線北27号交差点踏切改良等々の対応について、進展経過について伺いたい。

町長 国道の安全対策についての改善要望は、北海道開発局に対して、あらゆる機会を通じて強く要望しているが、今尚、具体的対策が示されておりませんので引き続き強く要望してまいります。

再質問 交差点踏切改良については、JR側の設計条件である踏切と道路の交差角度を考慮した概要図を基に地権者と協議を進めますので御理解を賜りたい。

再質問 交通安全対策は人命に関わる問題である。積極的成果ある運動を展開していただきたい。

交差点踏切改良は調査費の予算を早急に付けて対応

を図るべきと考えるが。

町長 重点的対応として237号の交通安全対策を推進するよう強く要望しており、加えて広域で各市町村と連携して要望を展開しております。

西1線交差点踏切改良については、取り組みについての認識は議員と同じ考えを持っており、今後、財政状況を見極めながら実施計画の中で取り組みについて鋭意努力いたします。

再々質問 西1線交差点踏切改良の調査費についての明確な回答を伺いたい。

町長 実施計画にのせるといふ事は予算をつけて事業を起こすという事です。改良については地域の皆さん方も要望している事は十二分に承知いたしており、今後、議会の皆さん方と調整をしていただきながら財政状況を見極めた中で三カ年ローリング実施計画の中に組み込んでいけるように努めてまいります。



清水議員

Q、土づくりに産廃・生ゴミの有効活用を

A、広域で有機質化・堆肥化を検討

土づくりにについて

問 一般家庭から出る生ゴミ及び下水道汚泥等の有機質資材を、土づくりに有効活用するため将来に向かって考える必要があると思うが、どのように考えているか伺いたい。

町長 一般家庭から排出される生ゴミ、下水道汚泥等の資源の活用による有機肥料の生産と農地への還元による土づくりは極めて重要と考えている。

施設の整備に多額の費用を要することでもあり生ゴミは当面焼却処分を行い、下水道汚泥についても従前の利用組合に委託による処分としていきたいと思っている。

汚泥処理等の対応で今年度、富良野広域への加入をさせて頂きましたので、国の基準で汚泥、生ゴミの対象を含めた中での対応を図るということになっております。平成14年の12月に予定しております広域の中に

生ゴミも汚泥とともに有機質化、堆肥化する方向で検討していることで理解していただきたい。

農業観光について

問 農業の持つ多面的機能をもっと活かした農村の活性化、観光化に向けての展開が出来るかと考えるが町長はこの点をどのように考えているか伺いたい。

町長 我町においても数戸の農家が自ら取り組んでおり、都市住民の交流、活性化を図り、経営の安定を図っているところであります。

第4次総合計画の中においても基本計画の中で対応を図るべく対処していきたい。

再質問 外国の例ですが、

農業の副業として民宿を経営し農業収入の中で大きな役割を占めており、経営の大きな助けになっている面もあり、我町も富良野盆地の景観に引き寄せられて、多くの観光客が訪れているわけですから、農家の取り組みに対して行政として誘



西村議員



ラベンダーオーナーツアーの体験も堀りの様子から

導策を考える必要もあるし、姿勢として示していくべきと考えるが、どのように考えておられるかお伺いしたい。

農業観光もいろいろな面で多様化されておりますので、取り組みについては非常に難しい課題だと認識を持っておりまして、それぞれの農家の方の自主的な対応を図っていただきたいと思っております。

町長 今後の農業施策の一つの大きな課題と考えている。農業者自ら取り組んでいただく、計画を立てて行政としての支援策を検討し

顔

□シリーズ

議員の横顔

私の抱負

私も議員生活8年目を迎えている。地方自治体の住民代表としてやらねばならないことは山積みしているが、まず第一に教育、福祉、地域産業の振興があげられると思う。

地方分権を目前にして地方議会活性化という大きな課題もある。

開基100年を再出発点として、郷土上富良野の質的成長のために議会人として一層努力しなければと思う今日この頃である。

私の抱負

商店街活性化対策を一日も早く実現するよう努力したいと思っています。各店が一緒に考えていくよう、今後共協力し努力したいと思っています。

□佐藤政幸 議員



さとう・まさゆき
昭和8年4月24日生まれ
現在2期目、町内泉町に夫人と居住
産業建設常任委員・議会広報特別委員・消防議会議員
町監査委員・消防議会監査委員

地方議会活性化が課題

旅行・園芸

趣味

祭り

一生懸命まじめに

座右の銘

人の一生は重荷を負って遠き道を行くが如し

商店街の活性化対策に努力



なかじま・やすゆき
昭和13年7月30日生まれ
現在1期目、町内本町で飲食業を経営
総務常任委員会副委員長
消防議会議員

□仲島康行 議員

Family

家族から



恒子夫人

とにかく毎日忙しく働いています。一本気なところはありますが、仕事が好きで心やさしい人です。これからも皆様の助言をいただき、体に気をつけて頑張ってください。お酒は体にやさしく飲みましょう。



桃江夫人

一直線に進むところがありますので、よく人の意見を聞いてやってほしいと思います。身体は大切に、特に飲み過ぎないように。町民のために頑張つてやって欲しいと思います。

この企画は毎号2人の議員を紹介します。

議会の“窓”



これから幅広い交流を

今後の交流促進は

津市議会訪問団来町

津市議会議員12名が10月5日から7日の日程で来町しました。

今回は友好都市提携1周年交流事業としての訪問で、本町の議会議員と今後の交流促進について意見交換を行いました。

その中では経済交流、青少年の交流、文化交流など幅広い交流を実現していくことで意見交換を終えました。



気分は町議会議員

議会の役割、権限などの説明を受け、また実際に議員、町長になってもいいミニ模擬議会を開催しました。

読まれる広報誌を目指して

議会広報研修会に参加

7月30日・31日に開催された町村議会広報研修会に本町から吉武委員・小野忠委員と事務担当者の3名が出席しました。

研修会では読まれる議会広報誌を目指して、議会広報の資質向上を目的に開催され、議会広報の果たす役割や広報担当者の心構えなど基本的なことやレイアウト、用語、表記の方法、広報写真の取り方など専門的な広い範囲にわたり講演が行われ今後の広報編集に大変参考になりました。



熱心に研修をうける広報委員

町内行政調査を実施

公営住宅など12ヶ所調査
10月12日に議会全員による町内行政調査を実施しました。

調査箇所は現在町が進めている工事箇所など12ヶ所を調査しました。

議会のしくみは？

いきいき上富良野塾開講
町民の方に広く議会のしくみを知ってもらうことを目的に「いきいき上富良野塾」を10月6日・13日の2日間開講しました。

11名の町民が受講され、

不況トンネルにはいった感のある日本経済であるが、長い歴史の変遷が物語るように幾度か繰り返されてきた構築と崩壊が現在私たちの生活基盤となっているのが現実です。その現実を前向きな姿勢で取り組み、議会における審議の経過と結果を確実に伝えることが議会だよりの使命と考えています。

本町の9月定例議会は補正予算、条例の改正などを審議して閉会しました。「議会だより」の編集については議会での審議の状況また予算の使途について分かりやすく掲載し、親しまれる広報づくりを目指して委員一同頑張っております。

皆様の一層のご指導、ご支援をよろしくお願いします。

(小野 忠 記)

委員長	西村 昭 教
副委員長	石川 洋 次
委員	佐藤 政 幸
委員	梨 澤 節 三
委員	吉 武 敏 彦
委員	小 野 忠

議会の傍聴は自由です！ 当日、受付で名前などを書くだけです。



この広報紙は再生紙を利用しています。